

小林亮、中後、赤嶺がベストイレブン受賞

1部・表彰者一覧

- 得点王 (14ゴール)** 鴨川 奨 (順大4年)
アシスト王 (7アシスト) 藤本 淳吾 (筑波大3年)
新人賞 今田 傑 (筑波大1年)
 鎌田 次郎 (流経大1年)
 兵働 昭弘 (筑波大4年)
MVP 平山 相太 (筑波大1年)
ベストヒーロー賞 GK 来栖 由基 (筑波大3年)
ベストイレブン DF★小林 亮 (駒大4年)
 秋葉 陽一 (筑波大3年)
 片岡 洋介 (国士大4年)
 MF★中後 雅喜 (駒大4年)
 栗澤 僚一 (流経大4年)
 中島 俊一 (流経大4年)
 藤本 淳吾 (筑波大3年)
 FW 鈴木 達也 (筑波大4年)
 ★赤嶺 真吾 (駒大3年)
 杉本 恵太 (流経大4年)

※今年度より新人賞、ベスト11の受賞資格者は「規定試合に出場し、退場処分ならびに2回以上の出場停止処分のない者」に変更。なお規定出場試合数は新人賞5試合以上、ベスト11は7試合以上と変更はありません。



▲ベストイレブン受賞者。後列左から来栖、秋葉、中島、片岡、中後、杉本。前列左から赤嶺、鈴木、小林亮、藤本、栗澤。

中後、嬉しい初受賞

「嬉しいですね。去年、一昨年取れなくて、今年は警告とかの兼ね合いでどうなのかなって思ってたんですけど獲れてよかったです。チームが3位で終わってしまったので、個人的には嬉しい受賞でした」とコメントした中後。活躍した一昨年、昨年は警告により受賞者対象から外されていただけに、4年目にして嬉しい受賞となった。

1部・最終順位

- 1位 筑波大学
- 2位 流通経済大学
- 3位 駒澤大学
- 4位 国士館大学
- 5位 中央大学
- 6位 順天堂大学
- 7位 東京学芸大学
- 8位 亜細亜大学

駒澤大学 2004年関東大学サッカーリーグ データ

総合成績(3位) 8勝5敗1分 得点36(1位) 失点18(3位)(+18) 勝点25

節	順位	スコア	対戦相手	得点者
1	7	●3-4	流経大	中嶋、原、大澤
2	3	○5-1	順大	小林竜、赤嶺、新川、原、中嶋
3	1	○7-0	中大	赤嶺3、小林竜、原2、八角
4	1	○3-0	亜大	原3
5	1	○2-0	東学大	鈴木祐、東平
6	2	●0-1	国士大	なし
7	3	●1-3	筑波大	小林亮
8	3	○3-0	順大	中嶋、赤嶺、鈴木亮
9	3	○1-0	東学大	中後
10	2	○4-1	亜大	最上、中後、巻、八角
11	3	△3-3	中大	中嶋2、赤嶺
12	3	●1-2	流経大	赤嶺
13	4	●1-2	筑波大	鈴木亮
14	3	○2-1	国士大	中後、大澤

チーム内得点内訳：7得点…赤嶺、原 5得点…中嶋 3得点…中後 2得点…大澤、鈴木亮、小林竜、八角

1得点…鈴木祐、小林亮、最上、巻、新川、東平

チーム内アシスト内訳：5アシスト…中後 4アシスト…赤嶺 2アシスト…原、巻 1アシスト…鈴木祐、太、中嶋 小林亮、桑原、筑城、小野里、塚本

●1-2 流経大



まさかの逆転負け 第12節

前節中大に辛うじて引き分け、優勝戦線に残った駒大は開幕戦のリベンジを果たすべく流経大に挑んだ。これまでの反省から立ち上がりの15分を意識した序盤はほぼ完璧な内容。前線からのプレスがよく効き、相手の自由を奪いゲームを支配した。そして訪れた18分のチャンスにも赤嶺がボレーで豪快に決め先制。前半は終始駒大ペースで終える。

後半も最終ラインの踏ん張りにより流経大にゴールを割らせない。しかしドラマは残り5分に起こる。一瞬の隙をついた栗澤がドリブルで抜けパスを受けた瀧原に同点弾を許す。常に勝ちを意識してきた駒大は勝ちを狙いになってしまう。前へ前へ意識がいつってしまった為生じたスペースをまたも栗澤に突かれ最後は杉本が決めて逆転。勝ちを意識しすぎての敗戦。これにより駒大の自力優勝は消滅。他校の結果に駒大の優勝の行方は委ねることに。

〜リーグ

●1-2 筑波大



第13節 優勝の可能性消滅

優勝には勝つことが絶対条件の駒大。その気の入れようがスタメン巻、原、赤嶺の3トップという形に表れていた。試合は序盤筑波大が先制するも、すぐさま鈴木亮のゴールで追いつく。その後筑波大陣内に攻め入るがフィニッシュの精度に欠けゴールできず前半を終える。後半65分筑波大平山の反らしたボールに鈴木が反応し逆転。ここに来て精神面でもイレブンを支えてきた試合直前の鈴木祐の怪我が悔やまれることに。なんとしても逆転したい駒大だがその後追いつくことなく試合終了。3トップで勝ちにいったが結果は1ゴール。決定力不足という課題を残し駒大の優勝は消えていった。

優勝に足りなかったもの。それは気持ちの面ではないだろうか。星を落としている試合は先制され、2点差以内の競り合いの試合ばかりだ。しかし、どれも試合内容では相手を上回っている。

逆境に立たされた時、11節中大戦の終盤に見せたようにどれだけ相手に喰らいついていけるかがポイントである。12月からは4年生最後の公式戦のインカレが始まる。リーグ戦の雪辱をこのインカレで晴らして欲しい。

(野澤俊介)